

## 語りの場からの 学問創成

当事者、ケア、コミュニティ

嶺重 慎・熊谷晋一郎・村田 淳・安井絢子 編  
京都大学学生総合支援機構 協力

A5判並製 272頁 定価：本体2600円+税  
ISBN978-4-8140-0526-0 C0037

刊行予定：2024年4月上旬 条件：新刊委託  
読者対象：教養～専門  
おすすめの棚：教育学  
おすすめ度：★★★☆☆

### ◎私たちの「生」に密着した学問を創成する

数値化・普遍化に傾注する従来の学問では、弱くゆらぎやすい私たちの「生」をとらえることはできない。これを打開する鍵が、人間の「生」の大切な側面に焦点を当てる当事者研究とケアの倫理の中にある。両者を響き合わせながら、障害・依存症・難病についての当事者の語りを掬い上げ、人間をまるごととらえる学問の創成を試みる。

◆嶺重 慎：京都大学名誉教授  
熊谷晋一郎：東京大学先端科学研究センター准教授、小児科医  
村田 淳：京都大学学生総合支援機構准教授  
安井絢子：京都大学文学部非常勤講師

## レジリエンスは 動詞である

アフリカ遊牧社会からの関係／脈絡論アプローチ

湖中真哉・G.センブリチェ・P.D.リトル 著

A5判並製 472頁 定価：本体5000円+税  
ISBN978-4-8140-0537-6 C3039

刊行予定：2024年4月上旬 条件：新刊委託  
読者対象：専門  
おすすめの棚：人類学  
おすすめ度：★★★☆☆

### ◎誰のための何のための？ 実践としての復元力

今日、「レジリエンス」は地球を救う鍵のように言われる。しかしそこには根本的な疑念がある。すなわち誰のための何のためのレジリエンスか？ということだ。「脆弱でレジリエンスに欠ける」と眼差されてきたアフリカ遊牧民の側から、生の脈絡に応じた日々の実践（動詞）こそがレジリエンスに他ならないことを明らかにする。イアン・スクーンズ氏寄稿。

◆湖中真哉：静岡県立大学国際関係学部教授  
グレッタ・センブリチェ：欧州大学院ロバート・シューマン  
高等研究センターPASTRES 研究員  
ピーター・D・リトル：エモリー大学サミュエル・キャンドラー・  
ドブス記念人類学部教授・グローバル開発研究プログラム長

## 注文書

2月号②

お申込みは→ 京都大学学術出版会

FAX：075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		語りの場からの学問創成 【3/15 締切】 ISBN 978-4-8140-0526-0 C0037 定価：本体 2600 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		レジリエンスは動詞である 【3/15 締切】 ISBN 978-4-8140-0537-6 C3039 定価：本体 5000 円+税